



林農水大臣へTPP交渉に関する緊急要請行動を実施

道農連は5月13日、山田委員長ほか各地区代表10名でTPP交渉に関する緊急要請行動を行った。19、20日にシンガポールで開かれるTPP閣僚会合が大きな山場とされていたことから、林芳正農林水産大臣をはじめ道選出国會議員などに、国会決議を逸脱するような譲歩や拙速な合意は断じて行わないよう強く求めた。

この要請に対し林農相は、「国会決議などを踏まえ、全力で交渉にあたる」と言ってきたが、今後も同じ姿勢で取組む」と述べた。また、各地区代表者からは、政府として正確な情報提供や国内農政の拡充強化を求める意見が出された。

参議院農水委員会で 農政改革2法案へ修正意見を陳述

道農連の山居書記長は22日、参議院農林水産委員会に出席し、農政改革2法案に関する参考人意見陳述を行った。

山居書記長は、道農連が掲げる2013年「真の農政改革」の策定の背景や基本的な考え方などを説明し、その上で、「担い手経営安定法改正案」について、主食用米を安定供給と経営安定のためにゲタ対策の対象作物に加えるよう修正を求めた。また、「多面的機能発揮促進法案」では、これまで無償で提供してきた多面的機能の有償化を明記することなど目的条項の修正を求める意見を述べた。

TPP閣僚会合に向け 緊急ハガキ要請行動を実施

道農連は、TPP交渉閣僚会合に出席する甘利TPP政府対策本部長に対し、各地区市町村組織を通じ、盟友からTPP交渉反対を訴える緊急ハガキ要請行動を8日から16日まで実施した。

TPP交渉への不安や憤り、国会決議の遵守、交渉からの即時脱退など、農業者の声を生産現場の訴えとして9000通に及ぶハガキが投函された。

5月の活動記録(上記以外)

- 1日 第85回全道メーデー
国際貿易交渉等に関する情報交換会
- 8日 TPP交渉に関する街宣行動
- ～9日 (TPP問題を考える道民会議)
- 12日 てん菜移植状況等現地圃場調査
- ～13日
- 19日 国際貿易交渉等に関する情報交換会
- 23日 北海道てん菜協会定期総会
- 24日 北海道農団労第22回定期大会

今後の活動予定

- 6/1 アジア・アフリカ支援米「田植祭」
- 6/4 道農連三役会議
- 6/5 執行委員会・農政改革対策委員会
- 6/23 畑作・野菜対策委員会
- 6/24 ローソン社長室長らとの意見交換
- 6/25 酪農・畜産対策委員会
- 6/26 川西農民連盟視察研修

詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。
お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(011-241-5416)まで